

<第9期介護保険事業計画「取組と目標」に関する自己評価シート>
(自立支援, 介護予防・重度化防止)

市町村名	西之表市
------	------

取組目標・重点施策等			評価	
要介護認定の適正化			B	
1 第9期計画における具体的な取組 (第8期の課題を受けて第9期計画で設定した取組及びR5自己評価を踏まえて見直した取組)				
認定調査票の職員間の確認を行うほか、調査基準の平準化のための研修会を実施し適正化に努める。				
2 取組の数値目標及び実績 (R6年度末時点)				
項 目	数値目標	実績値		
		R6	R7	R8
①重度変更率の平準化	①10.0%	13.47%	-	-
②	②		-	-
③	③		-	-
3 その他実績 (R6年度末時点) (2の数値目標の他に今回の自己評価に用いた取組とその実績)				
地区別研修会への参加、自主研修を実施し、適正かつ公平な認定が行われるよう努めた。 また、年度途中で新しい調査員が加わり、今まで以上に認定調査票の確認を職員間で行い、調査資料のチェックをすることにより、1次判定の変更率はなく、調査基準の平準化に努めた。				
4 取組と実績を踏まえた課題				
認定調査員への研修等は行っているが、重度変更率は高い状態が続いている。				
5 課題を踏まえた今後の取組, 改善策 (R7年度～)				
認定調査について、今までよりも特記事項の記載内容について再確認を行ったことにより、調査員の共通理解ができ、調査基準の平準化を図ることができたので今後も研修会へ参加する。また、介護認定審査会については、引き続き適正かつ公平な認定が行われるよう、地区別研修会への参加や自主研修を実施し、質の向上を図り重度変更率を県平均に近づける。				

<第9期介護保険事業計画「取組と目標」に関する自己評価シート>
(自立支援, 介護予防・重度化防止)

市町村名	西之表市
------	------

取組目標・重点施策等			評価		
ケアプランの点検			C		
1 第9期計画における具体的な取組 (第8期の課題を受けて第9期計画で設定した取組及びR5自己評価を踏まえて見直した取組)					
自立支援に資する適切なケアプラン作成に向けて、ケアマネジャーに気づきを促すことを目的としたケアプラン点検を実施する。併せてケアマネジメントの質の向上、振り返りを支援するための研修会を実施する。					
2 取組の数値目標及び実績 (R6年度末時点)					
項 目	数値目標	実績値			
		R 6	R 7	R 8	
①ケアプラン点検数	①4事業所／6事業所	3事業所	-	-	
②ケアマネジメント研修	②1回／年	1回	-	-	
③	③		-	-	
3 その他実績 (R6年度末時点) (2の数値目標の他に今回の自己評価に用いた取組とその実績)					
令和6年度は運営指導を行った居宅介護支援事業所を含め、3事業所を対象に22件のケアプラン点検を実施した。点検結果を各ケアマネジャーへ通知することで保険者とケアマネジャーの知識・意識の共有を図れた。ケアマネジメント研修は外部講師に依頼し、令和7年1月に集合形式の研修を開催した。					
4 取組と実績を踏まえた課題					
ケアプラン点検では有料老人ホーム入居者、ショートステイ長期利用、訪問介護のみの方たちを点検対象とした。資料は事前提出としているが、提出資料の確認に時間がかかる。					
5 課題を踏まえた今後の取組, 改善策 (R7年度～)					
ケアプラン点検は事前の準備に膨大な時間を要するため、上半期・下半期に点検日を設定し、事務負担を軽減することも検討していきたい。					

<第9期介護保険事業計画「取組と目標」に関する自己評価シート>
(自立支援、介護予防・重度化防止)

市町村名	西之表市
------	------

取組目標・重点施策等			評価		
住宅改修の点検			A		
1 第9期計画における具体的な取組 (第8期の課題を受けて第9期計画で設定した取組及びR5自己評価を踏まえて見直した取組)					
自立支援のための在宅生活の基本動作の補助、身体状況から安全性を確保するための改修であるかを施工前に点検する。また、理学療法士等のリハビリテーション専門職が関与し、効果的な点検体制の構築を目指す。					
2 取組の数値目標及び実績 (R6年度末時点)					
項 目	数値目標	実績値			
		R 6	R 7	R 8	
①施工前現地確認	①全件	100%	-	-	
②リハビリテーション専門職関与による点検	②15%	80%	-	-	
③	③		-	-	
3 その他実績 (R6年度末時点) (2の数値目標の他に今回の自己評価に用いた取組とその実績)					
現地確認については、全数訪問調査を行った。市独自の点検確認シートを使用し、申請書類の確認作業がスムーズに行えるよう取り組んでいる。本課所属の理学療法士が現地確認に同行し、利用者の身体状況からより専門的な助言・提案ができる体制を整えている。					
4 取組と実績を踏まえた課題					
リハビリ専門職も行政職員なので今後、施工前現地確認への立ち合いにリハビリ専門職が不在となる可能性がある。					
5 課題を踏まえた今後の取組、改善策 (R7年度～)					
集団指導やケアマネ対象の研修等のなかで、住宅改修の施工前現地確認に、普段関りのあるリハビリ職が同行できないか今後も協力をお願いしていく。また、福祉用具購入・貸与をされている利用者の住宅改修依頼があった場合に、施工前現地確認と併せて調査ができないか検討する。					

「第6期鹿児島県介護給付適正化プログラム」の進捗状況について

第9期高齢者保健福祉計画のうち、介護給付適正化事業に係る目標として、
 ・ 帳票を活用したケアプラン点検
 ・ 専門職による住宅改修の施工前点検の体制構築
 があります。
 以下の点について、R7年3月末時点の状況を教えてください。

1 ケアプランの点検

(1) 点検の人員体制について（人数、職種）

1 事務職員（常勤）	3	人	6 介護支援専門員（常勤）		人
2 事務職員（非常勤）		人	7 介護支援専門員（非常勤）		人
3 保健師（常勤）		人	8 主任介護支援専門員（常勤）	2	人
4 保健師（非常勤）		人	9 主任介護支援専門員（非常勤）		人
5 その他		人	合 計	5	人

(2) 点検を実施する事業所の選定等に当たり、国保連の有効性が高いと見込まれる帳票※を活用している。

1 活用した 2 活用しなかった 1

(3) 点検対象の事業所の選定方法（(2)の回答が2の場合）

(4) プランの抽出条件（例）新規プラン、第二号被保険者についてのプラン

・ 有料老人ホーム入居者
・ ショートステイの長期利用者
・ 訪問介護のみのプラン

(5) サ高住や有料老人ホーム等入居者のケアプラン点検実施

1 実施した 2 実施しなかった 1

(6) (5)で1を選択した場合は実施しての効果を記載ください。

有料老人ホームを運営している法人が、併設している地域密着型通所介護事業所のサービスを利用している入居者が多く、外部サービスの利用の妨げになっていないか、利用者・家族の意向がケアプランに反映されているかを確認することができ、事業者、ケアマネジャーと情報共有を図る良い機会となった。

(7) (5)で2を選択した場合は実施しなかった理由や課題を記載ください。

2 住宅改修等の点検

(1) 専門職による住宅改修の施工前点検体制の構築状況

1 構築できている 2 構築できていない 1

(2) 上記(1)で1を選択した方は体制について記載してください（人数、職種）。

1 理学療法士	1	人	4 建築士等の有資格者		人
2 作業療法士		人	5 福祉住環境コーディネーター		人
3 保健師		人	6 介護支援専門員		人
			7 その他（ ）		人

(3) (1)で1を選択した場合は実施しての効果を記載ください。

利用者の身体状況からより専門的な助言・提案ができる体制を整えている。

(4) (1)で2を選択した場合は実施しなかった理由や課題を記載ください。

＜第9期介護保険事業計画「取組と目標」に関する自己評価シート＞
（自立支援、介護予防・重度化防止）

市町村名

西之表市

取組目標・重点施策等			評価		
福祉用具購入・貸与調査			B		
1 第9期計画における具体的な取組 (第8期の課題を受けて第9期計画で設定した取組及びR5自己評価を踏まえて見直した取組)					
福祉用具を購入・貸与している方の訪問調査を行い、福祉用具が自立支援を阻害していないか、その必要性・妥当性の確認をリハビリテーション専門職等と連携し、効果的な点検体制構築を目指す。					
2 取組の数値目標及び実績（R6年度末時点）					
項 目	数値目標	実績値			
		R 6	R 7	R 8	
①福祉用具の購入・貸与訪問調査	①24件	15件	-	-	
②	②		-	-	
③	③		-	-	
3 その他実績（R6年度末時点） (2の数値目標の他に今回の自己評価に用いた取組とその実績)					
施設に入所している利用者で福祉用具をレンタルしている方も調査対象とし、適切な利用がされているか確認することができた。また、就労先で福祉用具をレンタルしている利用者についても職場と自宅の両方を訪問させてもらい、福祉用具の利用方法、頻度を確認することができた。					
4 取組と実績を踏まえた課題					
利用者、ケアマネジャー、保険者のスケジュール調整が難しく、15件と件数は少なかったがおよそ1月の時間を要した。					
5 課題を踏まえた今後の取組、改善策（R7年度～）					
令和7年度は、従来の調査と合わせて住宅改修での施工前現地確認時に、福祉用具の購入・貸与調査ができるよう調査方法を検討していきたい。					

<第9期介護保険事業計画「取組と目標」に関する自己評価シート>
(自立支援, 介護予防・重度化防止)

市町村名	西之表市
------	------

取組目標・重点施策等			評価		
医療情報との突合			A		
1 第9期計画における具体的な取組 (第8期の課題を受けて第9期計画で設定した取組及びR5自己評価を踏まえて見直した取組)					
国保連への委託により効果的な点検を実施する。また、市健康保険課レセプト点検係と連携し、入院情報と介護保険の給付情報を突合し、給付日数や提供されたサービスの整合性の点検を行う。					
2 取組の数値目標及び実績 (R6年度末時点)					
項 目	数値目標	実績値			
		R6	R7	R8	
①医療給付情報突合リストによる点検	①全件	100%	-	-	
②	②		-	-	
③	③		-	-	
3 その他実績 (R6年度末時点) (2の数値目標の他に今回の自己評価に用いた取組とその実績)					
国保連合会から提供される「医療給付情報突合リスト」を基に、市健康保険課レセプト点検係へ依頼し、同月内における医療給付実績と介護給付実績の点検を行った。医療と介護の重複請求の排除に繋がっている。					
4 取組と実績を踏まえた課題					
課題は特にはないが、今後も重複請求がないよう、レセプト点検係と協力し継続していく。					
5 課題を踏まえた今後の取組, 改善策 (R7年度～)					
医療担当部署と連携し、突合点検を行う。					

<第9期介護保険事業計画「取組と目標」に関する自己評価シート>
（自立支援，介護予防・重度化防止）

市町村名	西之表市
------	------

取組目標・重点施策等			評価	
縦覧点検			B	
1 第9期計画における具体的な取組 （第8期の課題を受けて第9期計画で設定した取組及びR5自己評価を踏まえて見直した取組）				
国保連への委託により、受給者ごとの複数月にわたる請求内容について、算定回数確認や不適正な請求を分析し、事業所の個別指導、ケアマネジャーの資質向上等に活用する。				
2 取組の数値目標及び実績（R6年度末時点）				
項 目	数値目標	実績値		
		R 6	R 7	R 8
①縦覧点検分析結果を適正化事業に活用	①1回／月	8回	-	-
②	②		-	-
③	③		-	-
3 その他実績（R6年度末時点） （2の数値目標の他に今回の自己評価に用いた取組とその実績）				
縦覧点検で作成された各帳票を適正化事業に活用することができた。 ・ケアプラン点検の対象者選定「支給限度額超過利用者一覧表」 ・福祉用具貸与調査の対象者選定「軽度者の要介護者にかかる福祉用具貸与品目一覧表」「認定調査状況と利用サービス不一致一覧表」、「福祉用具貸与費一覧表」 ・短期入所が長期利用になっている利用者の理由書が提出されているか確認「算定期間回数制限縦覧チェック一覧表」				
4 取組と実績を踏まえた課題				
活用が進んでいない帳票がある。				
5 課題を踏まえた今後の取組，改善策（R7年度～）				
「入退所を繰り返す受給者縦覧一覧表」、「居宅介護支援再請求等状況一覧表」、「月途中要介護状態変更受給者一覧表」も活用し、運営指導の対象事業所選定やケアプラン点検の対象者選定を行う。				

<第9期介護保険事業計画「取組と目標」に関する自己評価シート>
(自立支援, 介護予防・重度化防止)

市町村名	西之表市
------	------

取組目標・重点施策等			評価		
給付実績の活用			C		
1 第9期計画における具体的な取組 (第8期の課題を受けて第9期計画で設定した取組及びR5自己評価を踏まえて見直した取組)					
国保連合会から提供される各種給付実績の帳票を活用し、適正化事業による検証・分析を行う。					
2 取組の数値目標及び実績 (R6年度末時点)					
項 目		数値目標	実績値		
			R6	R7	R8
①	—	① —	—	-	-
②	—	② —	—	-	-
③	—	③ —	—	-	-
3 その他実績 (R6年度末時点) (2の数値目標の他に今回の自己評価に用いた取組とその実績)					
厚生労働大臣が定める回数以上の過剰な訪問介護(生活援助)をケアプランに位置付けている利用者の担当ケアマネジャーを抽出するために「生活援助中心型実績一覧」を活用した。令和6年度は対象者が1名いたが転出したため、個別ケア会議での検証には至らなかった。また福祉用具購入・貸与調査の対象者を選定するために「認定調査状況と利用サービス不一致一覧表」、「福祉用具貸与費一覧表」を活用した。					
4 取組と実績を踏まえた課題					
給付実績の各帳票について、活用できていない帳票がある。					
5 課題を踏まえた今後の取組, 改善策 (R7年度~)					
「サービス計画費作成体制状況一覧表」、「給付費急増被保険者一覧表」等の帳票を活用し、ケアマネジャー1人当たりの作成ケアプラン数や事業所の運営状況、給付費が前月と比較して急増している利用者のアセスメントと十分なサービス内容の検討が行われているかの確認を運営指導やケアプラン点検等で実施していく。					